

# 編集後記

## 《19生》

今回も参加させてもらいました。なかなかひとつのことをすっぱりやめるとするのは、強い意志と決断力がいりますね。特にそれが、大切なものであればあるほど。後期号は毎年大変な思いをしながら作っている印象があります。しかし、悩み、苦しんで作るからこそ、よいものができるのだと思います。ありがとう。ありがとうございました。

— 中 村 洋 平 —

## 《20生》

研究室紹介と総科大学院特集を担当しました。どちらもインタビュー形式でしたが、ほぼ1対1の研究室紹介と違い、特集では、先生1名、院生の方2名、僕たち編集員3名の計6名という大所帯でした。なので、会話を文字に起こすのに苦労しました。でも、漠然としていた大学院のイメージが多少なりともわかったことはいい収穫でした。

— 世 良 真一郎 —

今号で飛翔卒業です。ほんとに色々迷惑かけました。お世話になったすべての人に感謝しています。世間知らずの僕には2年間いろいろな方に取材したその全てが新鮮な経験でした。飛翔編集員をやって良かったと思っています。本当にありがとうございました。

— 山 崎 弦 太 —

ついに「飛翔」の委員も4期目となり、今回「OB・OG紹介」を担当したことで、「飛翔」のすべての企画を1度は経験したことになります。

ところで、「OB・OG紹介」はある大きな矛盾を抱えた企画だと以前から疑問に思っていました。「OB・OG紹介」と銘打ちながら、実際は「広島OB・OG紹介」でしかなかったのです。言うまでもなく、総合科学部のOB・OGの皆さんは全国各地で活躍されています。これからは、広島県外の皆さんにもスポットライトを当てなくては。私が編集長であるうちに、必ず県外に取材に行こう。そう思っていました。

そんな思いをメンバーに理解してもらえ、今回は福岡県久留米市に取材に行くことができました。これが今後のスタンダードとなり、全国各地で活躍されているOB・OGの皆さんへの取材が続いていくことを切に願っています。

— 山 谷 義 貴 —

表紙の雪だるま、なかなかかわいいでしょう？ でもこれ、誰もいない神社で一人で作ったんです。寒かったなあ、いろんな意味で。飛翔が出る頃にはあったかくなっていたらいいなあ。

— 吉 田 聡 —

## 《21生》

前期とは打って変わって、締め切りに追われたり、締め切りを延ばしてもらったりで大変でしたが何とか完成まで持ってこれてほっとしました。編集委員の皆さん、取材させていただいた方々、どうもありがとうございました。

— 久 住 忠 彦 —

今回の飛翔は人数が前回に比べ少なくなりました。個々の役割が大きくなり、また、今までの飛翔から変えた部分も多く、試行錯誤する日々が続きました。今しかできない「飛翔」が完成したと思います。

— 小 出 有 華 —

祝77号!! なんとも縁起が良いですね。しかし、その縁起を担げなかった自分がいます。なにしろ締め切りを大幅に遅れさせていた張本人は私なのですから（笑）本当にすみません。来年度の目標は、締め切りを守る、とでもしておきましょう。今回は広島を飛び出したり、業界の裏話を取材したり……これ以上ないと言えるほど多くを経験できました。そんな記事を書くことができ本当に幸せでした。これからも、自己満足ではなく、総科の良さをもっと多くの人に伝えられるような飛翔を作っていきたい、と改めて実感した日々でした。

— 林 田 啓 誉 —

個人的には、前号に比べ激減した編集委員数に愕然としながら始まった今号でした。例年、前期よりも後期の方が減ると聞かされてはいたものの、ここまでは。しかし、それも取材が始まれば、気にならなくなりました。初めて県外へ取材に行くことができたし、自分の気になることを調べられてとても良い経験ができました。OB紹介と特集の総科音頭・総科節の記事を書かせていただき、苦勞する面もありましたが、書いていて面白かったです。次号もいろんなところに取材に行って、また新たな出会いに恵まれることに期待したいです。

— 平 野 詩 歩 —

## 《教員・事務の方々》

新しい企画も登場し、ますます盛りだくさんの内容となりました。多くの先輩・先生方からお話を聞いたり、古い資料を調べたりと、編集員それぞれがいろいろなことを学んだらうと思います。今回も、「飛翔」づくりにたいする編集員の熱い思いが、誌面から伝わってきます。これを読むほかの学生諸君にも、きっと刺激になることでしょう。取材活動ならびに編集作業、本当にお疲れ様でした。次号も大いに期待しています。

— 青木 利夫 先生 —

今号で、私の『飛翔』編集委員としての任期は終了です。総科に着任して間もなく編集委員となったため、この間は編集委員会の学生さん、事務職員、教員の皆さんに教えてもらうことばかりだったように思います。頼りない編集委員だったことをお詫びしつつ、皆さんに感謝申し上げます。おかげさまで総科のこと、たくさん知ることができました。これからも伸び伸び、学生さんらしい広報誌作りをすすめてください。

— 佐々木 宏 先生 —

毎年3月に発行する号は短期間でうまいことまとめていると思います。前号に続く企画総科音頭・総科節やOG紹介番外編など楽しく読ませていただきました。編集員さんが減ってみなさんの役割が増えた分出来上がった喜びも大きいことでしょう。次号の企画でも新しい企画を期待しています。

— 岩佐 浩子 さん —

今回初めて「飛翔」を読んだのですが、かなり本格的に作られているなあというのが最初の感想でした。OB・OG紹介などは「総科」という学部の特徴がよくわかる記事で、興味深く読ませていただきました。表紙の雪ダルマもとても可愛らしいと思います。これからは学生ならではの飛翔づくりを期待しています。

— 國府 結 さん —